

## 【同窓会報告】

## 38 回生卒後 50 周年の集いは



長谷川 光宏

平成 24 年 10 月 20 日～22 日 2 泊 3 日の日程で行いました記念の同窓会は、山田勝彦先生の出席のもとに夫婦 2 組も含め 15 名の参加で、予定より小人数にはなりましたがとても充実した会になりました。

内容の一端を紹介します。

10 月 21 日 13 時、京都駅南口に集合。懐かしい顔の面々が揃ったところで、マイクロバスに乗り吉田さんご推奨の、橋本関雪記念館—銀閣寺—永観堂—高台寺などを鑑賞しました。久しぶりに古都の栄華を偲びつつ京都の良さを再発見したように思います。

夜は烏丸京都ホテルでの卒後 50 年を記念しての懇親会です。山田先生(今年、喜寿との事ですがなんと参加者の中で一番年輩であるにもかかわらず一番若かったです)の挨拶のなかで、現在の技師は非常に恵まれています。画像の読影もできるようになり医師と対等の立場になりつつあり、待遇面でもかなり良くなったとのこと。これは皆さんがずっと努力をしてきた賜物で、どうか其の事に誇りを持ってほしい旨の非常に嬉しい話がありました。久しぶりに先生の話聞き、学生時代に戻ったような気分になりました。

皆さんからは、各々とおきの話が披露され、なかでも池田さんからはビックリするようなお土産の披露、説明がありました。

それは「昭利 36 年レントゲン技術専修学校募集要項、入学試験注意書、受験票、入学許可通知書、通信簿、出欠表」などの書類を一式持ってこれ、皆さんに渡して中身を紹介してくれたことです。山田先生も「よう持ってたなァ」と感心しきり、私たち一同も感動ものでした。このような盛り上がりのなかで 3 時間近くがあつという間に過ぎ先生を送りつつ散会となりました。

翌二日目は、一泊で帰られる人の見送りを受け城崎にむけ出発—出石辰鼓楼—コウノリの里公園—玄武洞公園などを田代さんの計らいで堪能しました。出石辰鼓楼では、この地の名物「出石皿そば」(ちょっと、わんこそばに似ている)をたらふく食べました。コウノリの里では一度絶滅した鳥を、地の人の大変な努力で復活させたとのことで、この鳥に愛着を覚えました。また玄武洞は珍しい形をした石の連続で人が少なかったせいかゆったり、のんびり観賞できました。

城崎の宿に着いて、6 人での家族的な雰囲気での宴会。料理も昨夜の中華から和風になり、いろいろな味に舌づつみを打ちました。

城崎は初めての町でしたが、驚いたことには宿の風呂は小さく、なるべく外の風呂を利用して下さいとのことでした。皆さん下駄やサンダルでカラコロンカラコロン出かけていました。

三日目の朝、朝食の後お土産など買いながら、次回長野での再開を約して会は終了しました。

今回は吉田さん、田代さん、原田さん、不参加になった人見さんの骨折りで、皆さんには満足して頂けた事と思います。ありがとうございました。

## 今年長野での同窓会について

昨年の京都に続いて長野で同窓会を開催します。大勢の皆さんの参加で、秋の長野を楽しんでいただければと思っています。

日程としては 10 月 22 日(火)、23 日(水)のウィークデイを考えていますので仕事を持っている方は休暇の準備をお願いします。

以上